

	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備		○	収納の仕方が工夫されてると思います	必要に応じてレイアウト変更等を実施します。
	○		今は子どもが少ないが今後増えたらスタッフは少ないと感じる	子どもの人数に合わせた最適な人員配置をしていきます。
		○	部屋がひとつのため、音が部屋全体に伝わりやすく、場合によっては、音の刺激が多くなりやすい。本当なら、二部屋あるとよいが。  活動に合わせてうまく空間を使い分けていると思う	限られたスペースの中での保育となりますが、食事や午睡時の大人が出ず雑音等には十分に配慮しています。
	○			
業務改善		○	やってはいるが、積極的ではない	職員会議等で共有していきます。
	○			
		○	職員には伝達されるが、それらをホームページで公開(しているかもしれないが)されているページの周知がされていない	平成30年度 事業所自己評価結果は以下の通り公表されています。 <a href="https://helen-hoiku.jp/news/1309">https://helen-hoiku.jp/news/1309</a>
		○		
	○			
		○		保護者との普段のコミュニケーションや園スタッフからの情報も加味し支援計画を作成していきます
		○	現在、各園での取り組みを整理し、事業所全体で共通しているツールを使いはじめようとしている	今後ヘレン全体で児発管を中心にアセスメントツールの研究、導入を検討します。
適切な支援の提供	○			
	○			
		○	共通テーマはチームで決め、活動プログラムは順に個人で担当している。個々の自由な発想で子ども達が様々な経験ができるように、立案は分かれて行っている。	より良い活動になるように、保育スタッフが個々に立てた活動案をスタッフ全員で共有していきます。
	○		季節や行事を取り入れた活動を積極的に扱う工夫をしている。	
	○		大人の手があることで集団活動のあそびの中で個別的な課題を行うことが可能。	

	17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		計画をたてた用紙を各職員がそれぞれ確認するかたちになっている	
	18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	気づいたことはその日のうちに、他は、週1のミーティングでの振り返りになることが多い	スタッフ間で適宜最適なレビューを実施していきます。
	19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○	個別支援計画書作成を行う時期に合わせておこなう	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○	懸案事項があれば、待つのではなく、園側から関係機関に働きかけを行う	必要性が生じた場合は各関係機関への働きかけを実施します。
	23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		連携した支援は行えているが、医療関係に偏ってしまう現状あり。今後の就学にも関わるので教育関係とも積極的に連携していきたい。	教育関連機関とのつながりを持つべくつながりを持てるよう働きかけていきます。
	24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		今後発生の可能性のある転園等については早めに対応できるように準備を進めます。
	26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		学校から見学等の情報はありますがこちらから働きかける機会がまだないため、双方で情報交換できるような関係を作っていきます。
	27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		より一層繋がりをもつようコンタクトを密にします。
	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		同じ建物内にあるので日常的に交流できているのはいいと思うが時間など制限があってもいいと思う	交流保育に関してはメリハリのある活動を意識し進めて参ります。
	29. (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	年1から2ほどの会議に参加のみになっている	機会があれば積極的に参加いたします。
	30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	プログラムとしては取り組めていない。面談などで、対応方法のアドバイスをを行うかたち	今後ヘレンの保護者ニーズに適したプログラムの研究、研修への参加を検討します。	
32. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的というよりは適宜行っている	

保護者への説明責任等	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	利用人数が少ないため、父母会がつくれるほどの保護者数はない。行事などは保護者に積極的に案内し、また、退園や転園したご家庭にも案内し、保護者同士の触れ合いの機会をつくっている	定期的な保護者会の実施を検討します。また園の行事等での保護者の交流の場も積極的に作っていきます。	
	36. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	夏祭りの実施  施設的にも利用者的にも実現するのはむずかしいと思う	近隣住民の皆さんへを招いての行事や近隣企業への訪問等を引き続き実施します。	
	41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
非常時等の対応	42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			園内の事例にとどまらず、各園の事例も水平展開することも検討し、事故防止に努めます。
	46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			今年度より説明を行い、ご理解いただく時間を設けています。